



▲国歌斉唱ピアノ演奏 大木恵里華さん(中谷里)



▲開式の辞
木内貴之さん(清和甲)



▲閉式の辞
鈴木櫻子さん(飯岡)

希望を胸に 新たな一步をスタート

暖かな日差しに包まれた1月7日、大人の仲間入りを祝う成人式が東総文化会館で開かれ、激励や祝福の言葉を贈られた新成人757人が、大人としての第一歩を踏み出しました。

式典では、新成人を代表して菅谷貴之さん(江ヶ崎)と白土恵己さん(八)に伊藤市長から記念品の贈呈が行われた後、20歳になって思うことや夢、感謝の気持ちなどを5人が発表しました。また、思い出のスライド上映では、中学生時代の懐かしい写真がスクリーンに映し出されるたび、会場からは大きな歓声や笑い声が起るなど、和やかな雰囲気で式典は終了しました。

会場の外では、恩師や友人との久しぶりの再会を喜び、笑顔で話し合う姿や何度も記念撮影をする姿が多く見られました。



▲懐かしい映像が次々と





成人として守るべきこと

横山裕士 さん（椎名内）

私たちは、晴れて大人の仲間入りをし、自覚と責任ある行動が求められるという人生の大きな節目を迎えるました。それに伴い、私たちが守るべきことが2つ有ると考えます。まず1つは秩序、マナーに対する考え方です。現代の新成人というと、あまり良いイメージはありません。そこで、まず私たち若者が率先して、これまでのイメージを覆す「ギャップ」を見せるのです。たばこやごみのポイ捨て、飲酒運転、今は給食費の未納問題が騒がれています。今、自分たちにできる簡単な「マナー」から始めてはいかがでしょう。もう1つは、自分を大切にし、相手も大切にすることです。自分がつらいときは相談する、また、友人や同僚に変化が見えたときは声をかけるなど、今はこういったことが簡単にできない時代になってきています。ちょっとだけ勇気を出し、はじめの一歩を踏み出すことができるようになれば、「成人」として胸を張っていけるのではないかでしょうか。それが今まで面倒を見てくれた方々への恩返しの1つにもなるのではないかでしょうか。

いつでも先は不透明です。失敗すること、不安になることはこれからたくさん出てきます。しかし、後悔はしないでください。1年365日ある中で、けんかした日や泣いてしまった日より、それよりもちょっと多い日笑える、そんな日々が過ごせればいいなと私は思います。



20歳になって

神崎 舞 さん（新町）



私は、この旭で生まれ育ちました。小中学校のころ、落ち込んでいた私を勇気付けてくれたたくさんの仲間。一緒に笑って過ごした日々はかけがえのない宝です。高校では、楽しい、悔しいといったやりがいを感じられるようになりました。励まし、導いてくれた友達にとても感謝しています。そして今、私は美容師になるために専門学校へ通っています。技術も生活もうまくいかず、何度も落ち込みました。しかし今は、やりがいを少しずつ感じられるようになってきています。今の目標は国家試験に合格し、先輩スタッフと早く一緒に仕事をすることです。未来を考え、それに向かっていく毎日は、とても楽しいものとなっています。

私は、本日をもって大人の「仲間入り」をしたわけですが、まだ大人になる「権利を得た」のだと思っています。本当の意味で成人するためにも、自分をしっかりもって、社会人として日々がんばっていこうと思います。そしていつかは、両親に誇ってもらえるような立派な美容師になること、それが私の両親への最初の恩返しです。

これから先、大きな壁や苦難が待ち構えていると思います。ですが、それと同じくらい喜びや楽しみも待っていると思います。まだまだ未熟な私ですが、不安に負けぬよう、毎日を精一杯過ごしていきたいです。



成人式を迎えて

高木大造 さん（後草）

今、振り返ってみるとあっという間だった20年間。でも、とても充実していて、たくさんの思い出でいっぱいです。

私は小学校4年生のときに、この旭市に引っ越してきました。始めは田舎だと思っていましたが、今では自然に囲まれた、人も温かいこの町が大好きです。中学校は海上中学校へ入学し、野球部に入部しました。みんなで頭を真っ青にしていたのが、今思うと少し恥ずかしいです。高校での3年間も野球一色でした。同じグラウンドで汗を流した日々は一生忘れないし、そのときの仲間は自分の一生の宝物です。高校では野球はやらないつもりでしたが、根気強く説得してくれた先生や友達。今思えば、野球をやめないで本当に良かったと思います。とても感謝しています。高校卒業後は消防署に勤務し、体力の向上はもちろん礼儀、ルール、責任の大切さなどを学んでいるところです。

20歳になり、今の自分があるのは、また、この成人式を迎えることができたのは家族や先生方、ここまで自分を支えてくれたたくさんの友達のおかげだと思います。これからも夢を持ち、たくさんのことについちゃレンジしていきたいです。自分をしっかりと立ち、年をとっても胸を張ってみんなの前に立てるよう生きていきたいです。



出会いを大切に

鎌木佐和子 さん（鎌木）

私は今、大学で英語を学んでいます。忙しい毎日ですが、充実した学生生活を送れるのも、今までにたくさんの人と出会い、支えられ、励まされたからこそと気付きました。そして、さまざまな出会いを通して成長してきたことを実感しました。

中学校で吹奏楽と出会い、生徒同士の絆、地域との絆を深めることができたように思います。高校でも吹奏楽部に入部し、すばらしい仲間に恵まれ、3年の夏のコンクールでは東関東大会で金賞を受賞することができまし



出会ったすべての人へ感謝

斎藤一成 さん（飯岡）

今日、成人式を迎えるまでに、多くの人たちに会いました。ずっと見守ってくれた家族、お世話になった多くの先生方や地域の人たち。年齢も住んでいる場所も全く違う多くの人たちが、自分を大きく成長させてくれました。そして、10代という人生で最も楽しく大事な時間を過ごしてきた友達と、数え切れないほどの思い出を作りました。友達という人生で一番大切な宝物を手に入れることができます。自分が無事成人式を迎えられたのも、皆さんの支えがあったからこそだと思います。

僕は今、古着の買い取りなどのアルバイトをしています。アルバイトというと、しっかりとしていないなどと偏見の目で見られがちです。確かに一理あると思いますが、僕は今の仕事が合っているし、とても充実しています。大変なこともあります、やりがいも感じています。

僕たちは、大人の仲間入りをしたといってもまだ未熟です。その反面、一人ひとりがとても大きな可能性を秘めています。夢を持っている人は、その夢を現実のものにするために努力してほしいと思います。まだ夢を見つかっていない人もいつか夢を見つけ、その夢をかなえてほしいです。自分自身も、今まで支えてくれた人たちの期待に沿えるよう、今まで以上に友達と助け合いながらがんばっていきたいと思います。

た。今も、社会人吹奏楽団に入団していますが、多くの方との出会いの場を与えてくれた吹奏楽は、精神面での成長を支えてくれたと同時に、どんな辛いことがあっても乗り切れる力を与えてくれる、私の原動力となっています。今年の夏は、更なる出会いを求めて、海外研修に行く予定です。研修を終えた後には、一回り大きな人間になれたたらと思います。そして、精神的自立を図ることが、両親への恩返しの第一歩だと思います。

将来は、人と関わる職業に就きたいと考えています。今まで、たくさんの人に出会い支えられてきました。出会い方はさまざまですが、どれも私にとって大事な宝物です。だからこそ、どのような職業に就こうとも、人の出会いを大切にし、誰かを支えられる人間になりたいと思います。